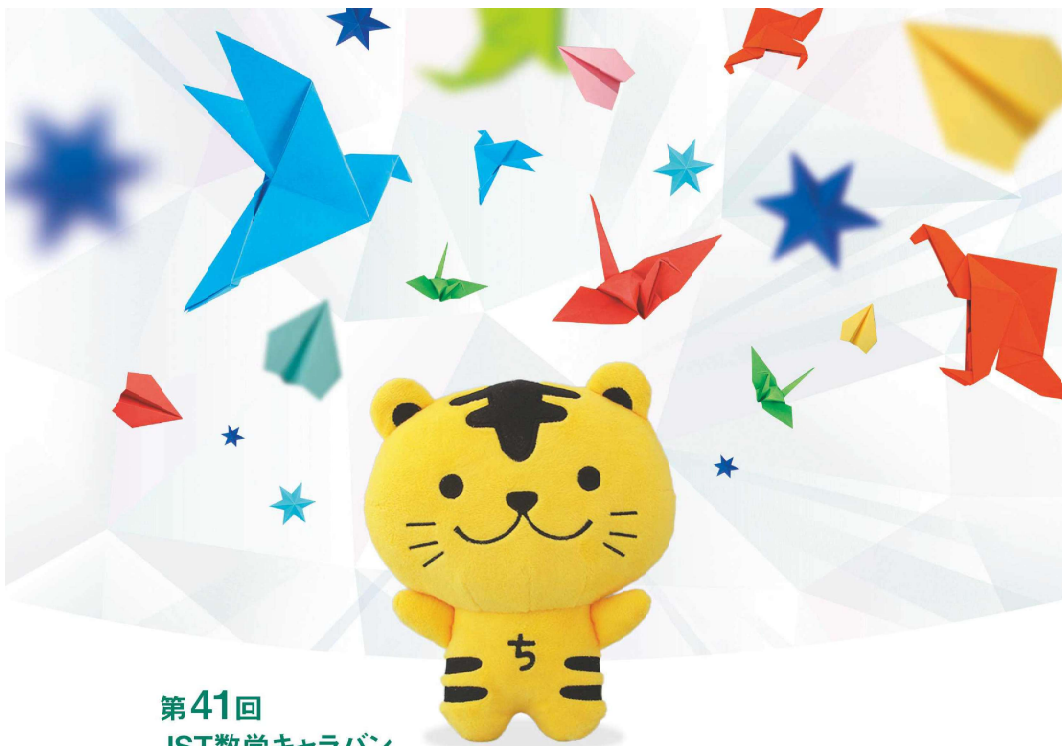




第41回
JST数学キャラバン

拡がりゆく数学

at 中部大学

2025年 **11月15日(土)**

選べる
2つの参加
スタイル
(定員 100名)

中部大学
アクティブホール **or** Zoom配信

参加費
無料

対象 どなたでも
ご参加いただけます
(内容は高校生向け)

要事前
申込

締め切り: 11月14日(金)
詳細と参加の
お申し込みはこちら▶



<https://www.chubu.ac.jp/research/institute/emerging-sciences/event/mathcaravan/>

主催: 中部大学創発学院

共催: 中部大学理工学部
国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)
JST AIP加速課題 JPMJCR25U6

後援: 愛知県 愛知県教育委員会
名古屋教育委員会 春日井市教育委員会

お問い合わせ先: **CUAES**

中部大学創発学院 渡邊 天鶴
E-mail: chubu-cuaes@fsc.chubu.ac.jp

第41回 JST数学キャラバン **拡がりゆく数学** at 中部大学

JST数学キャラバンは、学校の勉強ではなかなか味わえない数学の魅力について最先端の研究者がわかりやすく紹介するイベントです。今回は、実社会で役立つ分野の数学について、2人の先生に語っていただきます。参加者が折り紙を用いて角の3等分に挑戦するワークショップもありますので、奮ってご参加ください。



講演① 13:40 - 14:25



吉岡 秀和 准教授
(北陸先端科学技術大学院大学)

「身近な生物や環境の数理～アユの場合～」

アユといえば、「清流の女王」や「香魚」と呼ばれ、日本人に馴染み深い魚です。皆さんも、アユの塩焼きや刺身を食べたことがあるかもしれません。では、アユの一生や、その生息環境は一体どのようなものなのでしょうか？また、それらの背後にはどのような数学が潜んでいるのでしょうか？この講演では、アユの成長や回遊、生息環境について、数理とフィールドの視点から挑んできた研究事例を紹介します。この講演を通して、身近な生物や環境の数理に興味を持ていただければ幸いです。

講演② 14:40 - 15:25



清水 扇文 教授
(京都大学)

「身近に潜む円」

私たちの身の回りには硬貨や時計盤など円形のものが多くあります。太陽や月は円形で、円は神聖な図形として古代から関心が持たれていました。紀元前300年頃にはユークリッドにより円が定義され、紀元前250年頃にはアルキメデスにより円周率の近似値が求められました。目には見えていないけれど陰ながら円に支えられていることも意外と多く存在します。身近に潜む円について考えてみたいと思います。

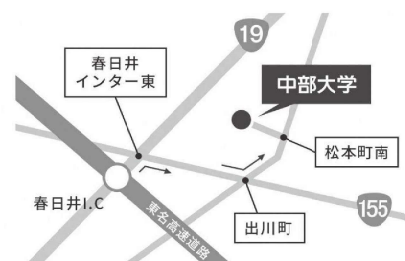
ワークショップ 15:40 - 16:25



森脇 淳 教授
(中部大学)

「折り紙で角の3等分をしてみよう」

定規とコンパスを用いて与えられた角を2等分することは容易です。3等分の場合はどうかという問題は、円積問題、立方体倍積問題を含めた古代ギリシャにおける三大未解決問題でした。しかしながら、1837年にピエール・ヴァンツェルにより、角の3等分問題は一般的には解くことが不可能であることが示されました。ワークショップでは、折り紙の世界で角の3等分は可能かということを考えていきます。折り紙による深淵な数学の世界を覗いてみましょう。



中部大学春日井キャンパス

〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200

<https://www.chubu.ac.jp/about/location/>



JR神領駅から名鉄バス

JR中央本線「神領(しんりょう)」駅下車(名古屋駅より「普通」で約26分、北口「中部大学バスのりば」から直通バスで約10分)。

JR高蔵寺駅から名鉄バス

JR中央本線・愛知環状鉄道「高蔵寺(こうぞうじ)」駅下車、北口8番のりばより名鉄バス「中部大学」行に乗り換える(約10分)。

お車をご利用の場合

東名高速道路春日井インターチェンジより約5分。
乗客駐車場がございますので、正門よりお入りください。